

研究者のための昆虫写真の写し方(3)

(田辺秀男氏原図、本文31ページ参照)



- ① コナガ(撮影倍率 1.5X、ニコマートFT、マイクロニッコール 55 mm F3.5、中間リング f16、1/125、ストロボ、コダクローム64、札幌市、1968. 8. 9)
- ② クロウリハムシ(撮影倍率 2X、ニコンFE2、ニッコール 45 mm F2.8、中間リング、f11-16、1/100、ストロボ、プロビア100、松山市、1997. 4.10)
- ③ イネクビボソハムシ(ドロオイムシ)(撮影倍率 3.1X、ニコマートFT、ニッコール28 mm F3.5 逆付、中間リング f16、1/125、ストロボ、コダクローム 25、札幌市、1967. 7. 10)
- ④ キンバエの一種(撮影倍率 3.9X、ニコマートFT、ニッコール28 mm F3.5逆付、中間リング、f11、1/125、ストロボ、コダクローム25、札幌市、1973. 9. 9)

カンキツグリーンング病の媒介昆虫ミカンキジラミ

(芦原 亘氏原図、本文10ページ参照)



- ① ゲッキツの芽に産み付けられたミカンキジラミの卵
- ② ミカンキジラミの幼虫(尾端からワックスに覆われたハニーデューを分泌する)
- ミカンキジラミの成虫



ジンガサハムシ

(林 直人氏原図、本文48ページ「表紙解説」参照)

